

# メール&ウェブ ビジネスへの移行ガイド

メール&ウェブ(30/100/200)

～コンテンツ複製サービスを利用したお客さま向け～

2.0 版

## はじめに

この度は、メール&ウェブ ビジネス(以下、本サービス)をご契約頂き、誠にありがとうございます。

本書では、メール&ウェブ コンテンツ複製サービスをお申し込みいただいた後の確認と、メール&ウェブ ビジネスのセットアップに関する手順をご説明いたします。



本書に沿って設定していただくことで、メール&ウェブ ビジネスの初期設定と、複製されたデータのご確認が行えるようになっております。

今後とも、末永くメール&ウェブ サービスをご利用いただけますよう、よろしくお願いいたします。

### <関連マニュアル>

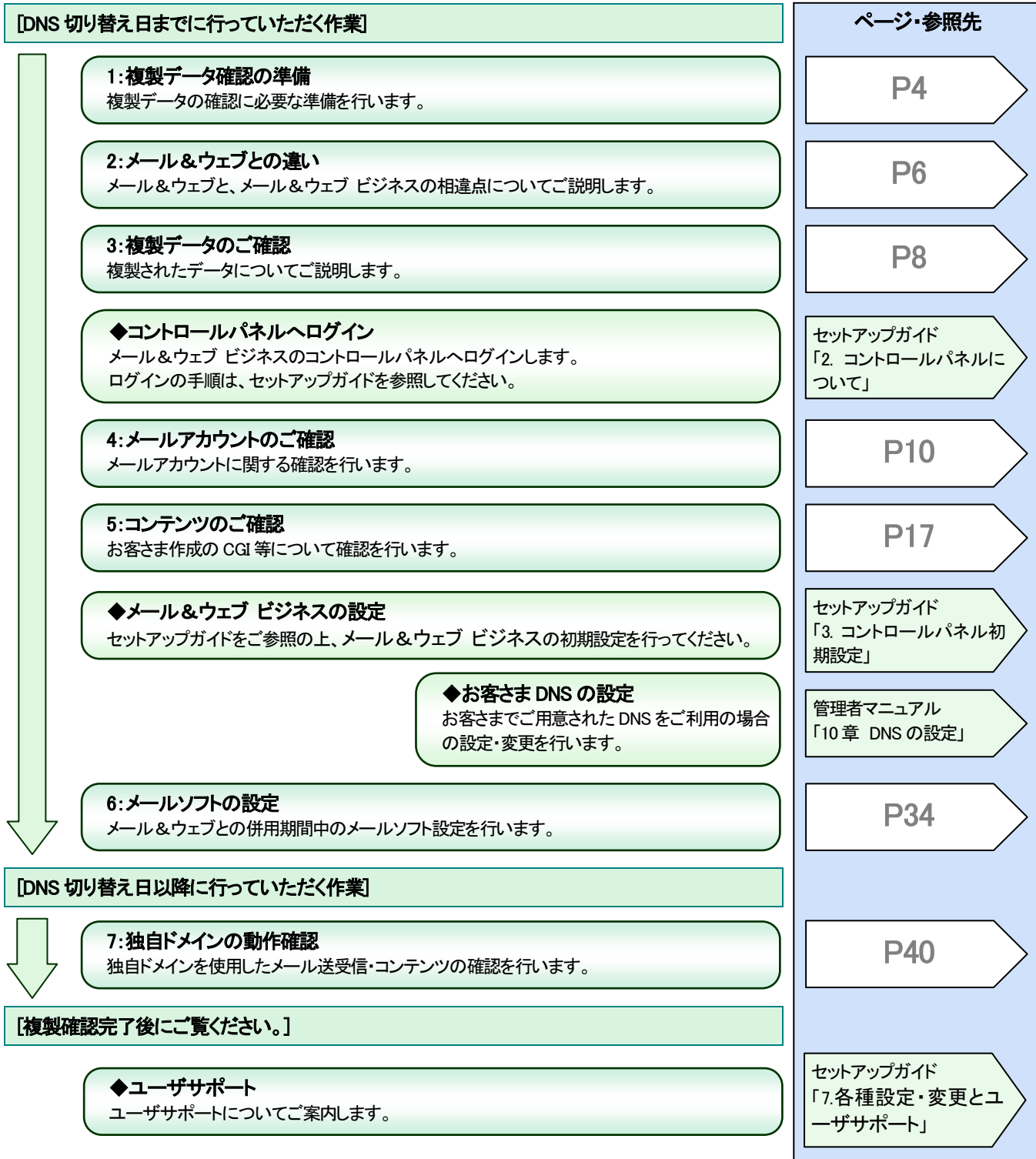
マニュアル名	説明	対象読者
移行マニュアル (本書)	本サービスへコンテンツ複製サービスを申し込みされた後にご覧いただくマニュアル	管理者
セットアップガイド	本サービスのご利用開始までに行っていただく設定手順をまとめたマニュアル。	管理者
管理者マニュアル	本サービスの詳細マニュアル	管理者

### <本書の記述について>

	使用上の制限事項や特定条件での禁止事項など、注意が必要な記述を示します。
	操作のポイントになる重要な内容や、補足事項を示します。

各章や項目の最後に、お客さまにご確認いただきたい項目や、必要な作業をまとめたチェック一覧がございますので、確認にお役立てください。

## ◆サービス実施の完了から、運用開始までの流れ



## 1.複製データ確認の準備

コンテンツ複製サービスの完了後、お客さま宛てに「**コンテンツ複製サービス完了メール**」と、メール&ウェブ ビジネスの「**ご利用内容のご案内**」が送付されます。

「コンテンツ複製サービス完了メール」と「ご利用内容のご案内」は、到着が前後する場合がございますので、**両方が手元に届くまでは、メール&ウェブ ビジネスへのアクセスはお控えください。**

また、「ご利用内容のご案内の」にございます書面の見方や、ログイン方法などで、メール&ウェブ ビジネスのセットアップガイドが必要になりますので、お手元にご準備ください。

### 1.1.お手元にご準備いただくもの

本書では、セットアップガイドもご参照いただきながら、複製データの確認とメール&ウェブ ビジネスのセットアップを進めてまいりますので、「**ご利用内容のご案内**」に同封されている**セットアップガイド**、または下記 URL より「**メール&ウェブ ビジネス セットアップガイド**」をダウンロードし、お手元にご準備ください。

#### <セットアップガイド入手先>

メール&ウェブ ビジネス マニュアルダウンロードページ

URL: <http://www.ocn.ne.jp/hosting/support/manual/mw2/index.html>

お客さまにご契約いただいたメール&ウェブ ビジネスの「**ご利用内容のご案内**」は、**お申し込み時に記載いただいた住所宛に送付されます。**

「ご利用内容のご案内」には、お客さまのご契約情報、サーバ情報等が記載されていますので、**紛失されないようご注意ください。**

記載の内容については、「**セットアップガイド 1.2 ご利用内容のご案内**」をご覧ください。

## 1.2.コンテンツ複製サービス完了メールについて

「コンテンツ複製サービス完了メール」はメール&ウェブ ビジネスへのデータの複製が完了したタイミングで、**メール&ウェブの「連絡用メールアドレス」に登録されたメールアドレス宛**に送信されます。

以下のようなメールが送信されますので、メールを受信していることを確認してください。

### <複製完了メールの例>

※本メールは機械処理されたメールであるため、返信いただいても対応することができません。  
恐れ入りますが、文末のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

メール&ウェブ サービスをご利用のお客さまへ

NTT コミュニケーションズ株式会社

---

メール&ウェブ コンテンツ複製完了のお知らせ

---

平素は「メール&ウェブ」サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

お客さまのアカウント情報・コンテンツを「メール&ウェブ ビジネス」サービスへ複製しましたのでお知らせします。

■お客さま情報  
【お客さま番号】 H\*\*\*\*\*  
【ドメイン名】 sig17e.wht.ocn.ne.jp

※新へにご利用いただく「メール&ウェブ ビジネス」サービスのお客さま番号は[H\*\*\*\*\*]となります。

■コンテンツ複製開始時刻  
・2010-09-02 21:34:01

■コンテンツ複製完了時刻  
・2010-09-02 21:37:29

◎コンテンツ複製に関する注意事項・再確認のお願い  
お申し込み時にご確認いただいたコンテンツ複製に関する注意事項について、再度、ホームページからご確認ください。

・[http://www.ocn.ne.jp/hosting/order/caution/mw\\_datacopy.html](http://www.ocn.ne.jp/hosting/order/caution/mw_datacopy.html)

◎メール&ウェブ ビジネス 各種マニュアルのご案内  
「メール&ウェブ ビジネス」のご利用にあたって、お客さまに実施いただく設定内容についてマニュアルを用意しておりますのでご参照ください。  
※設定には別途郵送する「ご利用内容のご案内」が必要となります。

<http://www.ocn.ne.jp/hosting/support/manual/mw2/#manual>

◎現在ご利用のプランとの仕様差分  
「メール&ウェブ」と「メール&ウェブ ビジネス」の仕様の違いについて、以下のホームページからご確認ください。

・メール&ウェブ (エントリー/スタンダード/アドバンス)との比較  
・<http://www.ocn.ne.jp/hosting/order/caution/changemw2.html#mw>

・メール&ウェブ (:30/100/200)との比較  
・<http://www.ocn.ne.jp/hosting/order/caution/changemw2.html#mailweb>

---

●お問い合わせ先  
・カスタマサポート窓口  
メール: [mw2-support@ocn.ad.jp](mailto:mw2-support@ocn.ad.jp)  
※お問い合わせ時はお客さま番号をお伝えください。

・ホスティングサービスホームページ  
<http://www.ocn.ne.jp/hosting/>



### 確認のポイント

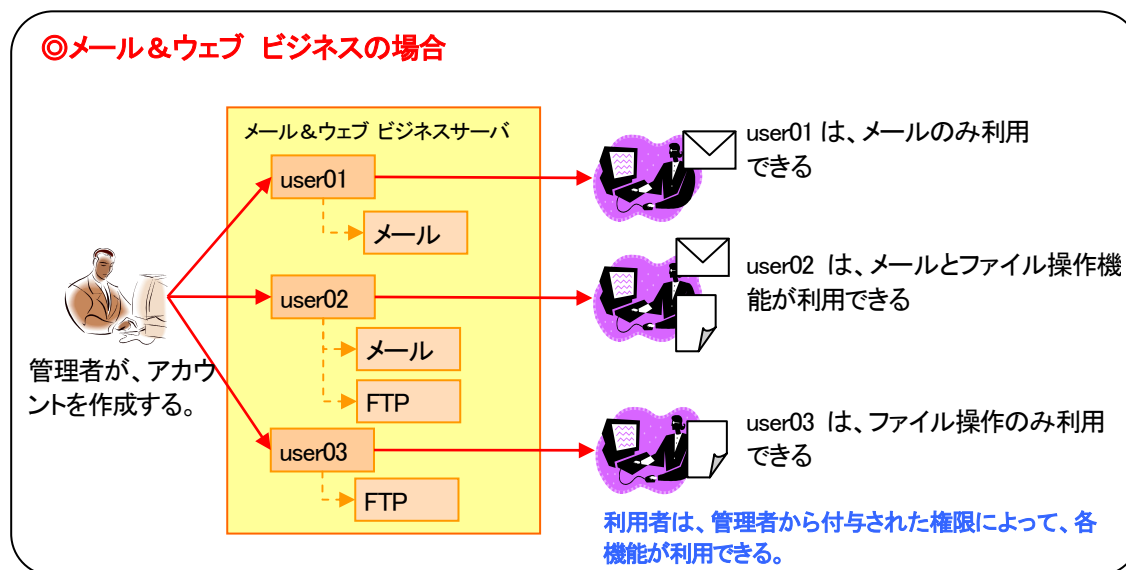
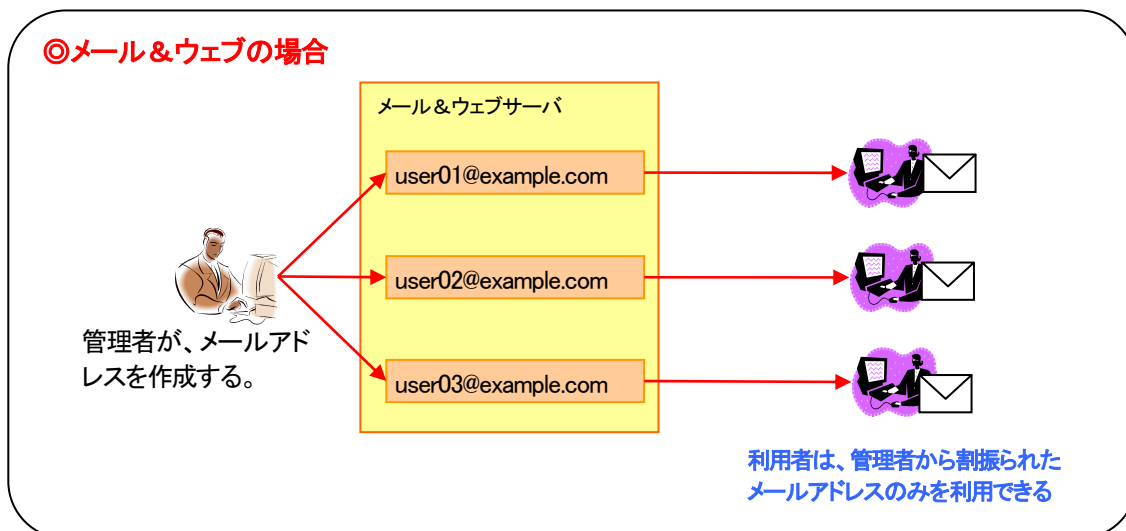
- メール&ウェブ ビジネスのセットアップガイドを準備する。
- メール&ウェブ ビジネスの「ご利用内容のご案内」が手元に届いていること。
- メール&ウェブの「連絡先メールアドレス宛」にコンテンツ複製サービス完了メールを受信していること。

## 2.メール&ウェブとの違い

メール&ウェブとメール&ウェブ ビジネスの違いについてご説明いたします。

### 2.1.アカウントの概念

メール&ウェブでは、管理者が作成したメールアドレスのみを各利用者が利用できる形態となっていますが、メール&ウェブ ビジネスでは各利用にアカウントを発行し、メールの利用や、FTPを使用したファイルの操作を行うことができます。



メール&ウェブ ビジネスでは、利用者に権限を与える事が出来ます。

各種権限によりメールの機能のみやFTPの機能のみといった、利用者に合わせて権限を設定することが可能です。利用者へ付与できる権限の詳細については、【セットアップガイド 4.1 管理者と利用者について】をご覧ください。

## 2.2.デフォルトの文字コード

メール&ウェブでは、PHPプログラム等で、データベースからデータを取得する際に、文字コードは【EUC-JP】を推奨していましたが、メール&ウェブ ビジネスでは、**標準の文字コードが【UTF8】**に変更となっています。

## 2.3.データベースアクセスツール

管理者の方が、データベースにアクセスする場合には、メール&ウェブでは OCN のコントロールパネルよりアクセスしていただくか、外部のツールをご利用いただいておりましたが、メール&ウェブ ビジネスでは、コントロールパネルより、phpMyAdmin というデータベースアクセスツールを利用することが出来ます。

※サポート範囲は、ログイン画面までになります。

## 2.4.ご利用可能なソフトウェアのバージョン

メール&ウェブ ビジネスで提供しているソフトウェアのバージョンは以下の通りです。(2011年5月現在)

メール&ウェブとは、バージョンが異なりますので、移行後の動作確認は十分に行ってください。

	ソフトウェア	バージョン
スクリプト言語	Perl	5.6.1
	PHP	5.2.14
		4.4.7
	Python	2.4.4
Ruby	1.8.6	
データベース	MySQL	5.1.50
	phpMyAdmin	2.11.10.0
アプリケーション	WordPress	3.0.1
	Urchin	2.7.03

最新のバージョンについては、<http://www.ocn.ne.jp/hosting/function/mw2/version.html> をご覧ください。

### 3.複製データのご確認

コンテンツ複製サービスでは、以下のデータが複製されます。

		メール&ウェブ
メール	POP ユーザ ID	×
	POP メールアドレス	○
	パスワード	○
	転送メールアドレス	○
	宛先不明メールの設定	×
	メールボックス	×
コンテンツ	html ファイル	○
	CGI ファイル*1	△
	画像ファイル	○
	各種ログファイル	×
	フォームメール	×
	アクセスカウンター*2	△
	ユーザ認証	○
	Urchin	○
	データベース*3	○
	SSL 証明書	○

- \*1 メール&ウェブ ビジネスでは各 CGI プログラム等のバージョンが異なりますのでコンテンツ複製後は必ず動作を確認してください。
- \*2 1ページに複数のカウンターを設置していた場合、メール&ウェブ ビジネスでは1ページで1つのカウンター数値のみ保持します。そのため、html ファイルの最後に設置されているアクセスカウンターの値のみが複製され、1ページ内に設置されている全てのカウンターに対し、その数値が適用されます。
- \*3 データベース内のデータについても複製されますが、メール&ウェブとメール&ウェブ ビジネスのデータベースの標準の文字コードが異なるため、文字化けしている可能性があります。詳細は、「5.1 データベース」をご覧ください。

次項からの手順では、メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルへログインし、メールアドレスの確認や、設定の変更を行っていただきますので、セットアップガイドを参照し、ログインの手順をご確認ください。

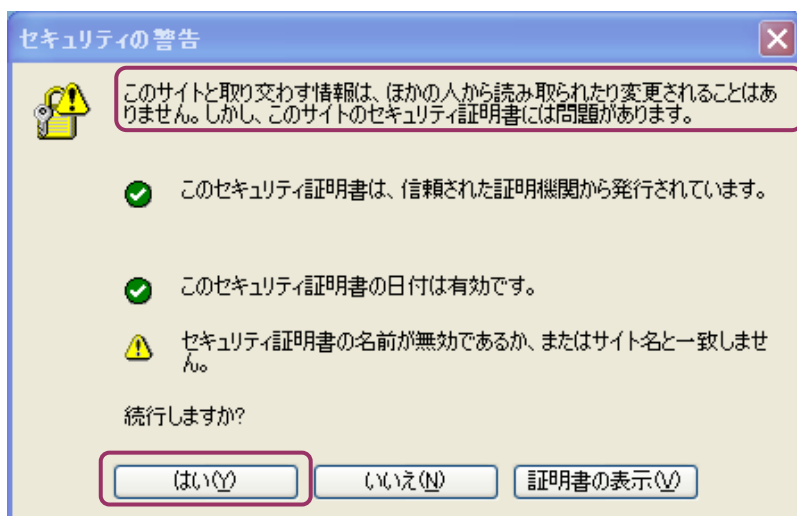
◆メール&ウェブ のコントロールパネルへログイン

本サービスのコントロールパネルへログインします。  
ログインの手順は、セットアップガイドを参照してください。

セットアップガイド  
「2 コントロールパネルについて」

SSL 証明書を移行されたお客さまは、DNS の切り替えが完了するまでの期間、コントロールパネルへのアクセスは「<https://お客様ID.securesites.com/ControlPanel/>」でログインしていただく必要がございます。

その際、以下のようなセキュリティの警告が表示されますが、そのまま「はい」を選択し、コントロールパネルへログインしてください。（「はい」で続行すれば、暗号化通信となり、ご利用に問題はありません）



DNS の切り替え後は、「<https://お客様ドメイン名/ControlPanel/>」でコントロールパネルへログインいただけるようになります。

※セキュリティの警告は表示されません。

## 4.メールアカウントのご確認

メール&ウェブ ビジネスへ複製したアカウントについて確認します。

### ✓ アカウントの複製について

アカウントの複製は、メール&ウェブのメールアドレスを基に、行います。  
複製のイメージについては以下をご覧ください。

#### <複製のイメージ>

#### ○メール&ウェブ

##### 【POP メールアドレスの設定】

##### 【転送メールアドレスの設定】

POPメールアドレスの設定		転送メールアドレスの設定	
formmail	formmail	fwd-o	host-admin@example.com
mail01	user01	fwd_mail	user01@example.com, user02@example.com
mail02	user02	fwd_pop	host-admin@example.com
ocnfire	ocnfire		
ocnperf	tan!nos#		
pop1	tan!nos#		
pop2	4tw6usk		
pp_local2			
pp_pop2			

POPメールアドレス、転送メールアドレス共に、メールアドレスの@より前の部分がメール&ウェブ ビジネスのユーザIDとして作成されます。

#### ○メール&ウェブ ビジネス

ユーザID	氏名	アカウント状態	メール	FTP	ウェブ	処理
<input type="checkbox"/> formmail		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> fwd-o		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> fwd_mail		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> fwd_pop		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> ikousabi3		有効	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> mail01		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> mail02		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> ocnfire		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> ocnperf		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> pop1		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> pop2		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> pp_local2		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止
<input type="checkbox"/> pp_pop2		有効	<input checked="" type="checkbox"/>			編集   停止

複製後の権限は、【メール】の権限のみ付与されます。\*1



\*1. その他の権限付与の方法については、【セットアップガイド】をご参照ください。

## <ユーザの情報の出力>

メール&ウェブで**POPユーザIDと、メールアドレスの@より前の部分が異なるアカウントの組み合わせ**一覧を、メール&ウェブビジネスのユーザ領域に【update\_user\_info.txt】というファイル名で出力しています。

このファイルには、メールアカウントと、メールアドレスの@より前の部分が異なっているアカウントの組み合わせのみを出力しています。

コントロールパネルにて、アカウント情報とあわせてご確認ください。

[update\_user\_info.txt の内容]

変更前メールアドレス, 変更後メールアドレス, 変更前 POPID, 変更後 POPID  
usermail@example.com, usermail@example.com, pop2, usermail

[出力先]

ディレクトリのプロパティ: 全てのファイル

ファイル名とパス: 全てのファイル

最終編集時間: 10:42 AM 2010/09/30

動作: ファイルの復元

内容: 7 ディレクトリ, 4 ファイル, (0 ショートカット)

オプション:  隠しファイルを表示する  
ディレクトリ閲覧時のエンコード: UTF-8

削除 圧縮 共有

ディレクトリの内容	最終編集時間	サイズ	
<input type="checkbox"/> backup	2010/09/22		
<input type="checkbox"/> etc	2010/09/28		プロパティ   コピー
<input type="checkbox"/> ftp	2010/09/16		プロパティ   コピー   移動   名前の変更
<input type="checkbox"/> tmp	2010/09/27		プロパティ   コピー
<input type="checkbox"/> users	2010/09/21		プロパティ   コピー
<input type="checkbox"/> var	2010/09/21		プロパティ   コピー   移動   名前の変更
<input type="checkbox"/> www	2010/09/21		プロパティ   コピー
<input type="checkbox"/> counter.dat	2010/09/21	12.54 kB	プロパティ   コピー   移動   名前の変更
<input type="checkbox"/> DB_Backup	2010/09/21	0.71 kB	プロパティ   コピー   移動   名前の変更
<input type="checkbox"/> update_info.txt	2010/09/21	8.39 kB	プロパティ   コピー   移動   名前の変更
<input type="checkbox"/> update_user_info.txt	2010/09/21	0.46 kB	プロパティ   コピー   移動   名前の変更

削除 圧縮 共有

「全てのファイル」配下に、update\_user\_info.txt は作成されます。



## 4.1.メールアカウント

### ○メール&ウェブ

#### 【POP メールアドレスの設定】

@example.com	POPユーザID	パスワード
formmail	formmail	formmail
mail01	user01	user1 pas
mail02	user02	user2 pas
	tan!nos#	tan!nos#
pop1	pop1	4tyu6yak
pop2	pop2	4tyu6yak
pp_local2	pp_pop2	pp_pop2
pp_pop2	pop_pop1	pp_pop1

メールアドレスの@より前の部分がメール&ウェブ ビジネスのユーザ ID として作成されます。

パスワードはメール&ウェブと同じものが設定されます。

### ○メール&ウェブ ビジネス

ユーザ属性	
ユーザID:	mail01@example.com
氏名:	
新規パスワード:	
パスワードの確認:	
権限:	<input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> ウェブ

【氏名】は、メール&ウェブ ビジネスでは必須入力項目となっています。アカウント変更時は登録を行ってください。

【メール】の権限のみ付与されます。

メール&ウェブ ビジネスでは、利用者に【ユーザ ID】を発行します。

ユーザ ID は、コントロールパネルのログインや、POP アカウントとして使用します。

ユーザ ID	メールアドレスの@より前の部分
パスワード	メール&ウェブで使用していたメールのパスワード

利用者の方がメール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルをご利用になる場合は、ユーザ ID とパスワードでログインすることができ、ログイン後はメールの利用設定や、振り分け設定などを行うことができます。

「氏名」の項目は、Web メールからメールを送信した際に、送信先に表示される項目となっており、入力の必須項目となりますので、アカウント変更時は登録を行ってください。

また、メール&ウェブとメール&ウェブ ビジネスではセキュリティ上、パスワードルールが変更されております。セットアップガイド「4.2 ユーザの新規作成」にて使用可能な文字やパスワードルールが記載されておりますのでご確認ください。



メールアドレスについては、今までお使いのアドレスを引き続きご利用いただけますが、メールソフトのアカウント名は、メール&ウェブ ビジネスのユーザ ID (メールアドレスの@より前の部分) となります。

メール&ウェブで、利用されていたメールアドレスの@より前の部分と、メールアカウントが異なる組み合わせで利用されていた利用者は、メール&ウェブ ビジネスに複製後は、ご利用のメールソフトのアカウント名を変更していただく必要がございますので、管理者の方は、**必ずユーザ ID を利用者へ通知してください。**

複製後のメールソフトの設定(Outlook)については、【本書 6.メールソフトの設定】をご覧ください。



メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルでは、設定されているパスワードは表示されません。  
 利用者の方がパスワードを忘れた場合や、メール&ウェブ ビジネスで許容されていないパスワードが引継がれ、コントロールパネルにアクセスできない場合は、管理者にて、メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルより再度パスワードの設定を実施してください。  
 パスワードの再設定方法については、<利用者のパスワード再設定>をご確認下さい。

### <利用者のパスワード再設定>

利用者がパスワードを忘れた場合は、以下の手順で管理者が再設定を行うことが出来ます。

- ① 管理者のログイン ID でメール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルにログインし、[ユーザ設定]の[ユーザリスト]より、パスワードを変更したいユーザの[編集]リンクをクリックします。

- ② [ユーザの編集]画面で、[新規パスワード]と[パスワードの確認]に新しいパスワードを設定し、[保存]ボタンをクリックします。パスワードに設定できる文字種を確認の上、パスワードの設定を行ってください。

### <パスワードに使用できる文字種>

設定項目	使用可能な文字種	文字数	備考
新規パスワード	半角英大文字、半角英小文字、半角数字、記号の一部	6~32	●数字を1文字以上含めてください ●大文字小文字が区別されます
パスワードの確認	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{ }~		

- ③ パスワードが変更されると、[ユーザリスト]の画面に遷移します。画面上部に以下のようなメッセージが表示されると、パスワード変更は完了です。

## 4.2.転送設定

【転送メールアドレスの設定】にて登録されたメールアドレスも同様に、メールアドレスを基にメール&ウェブ ビジネスのユーザ ID が作成されます。

メール&ウェブの【メール転送】に記載されているメールアドレスは、ユーザ ID(メールアドレス)のメール転送として設定されます。

※パスワードは、複製時にランダムに設定されますので、アカウント作成時にパスワードの変更を必ず行ってください。

### ○メール&ウェブ

#### 【転送メールアドレスの設定】

@example.com	
メールの転送先： ※設定に関する注意事項(必ずお読みください)	
fwd-i	pop2@example.com
fwd-o	host-admin@example.com
fwd_mail	user01@example.com,user02@example.com
fwd_pop	host-admin@example.com

メール&ウェブで設定した転送先のメールアドレスでユーザ ID が作成されます。

### ○メール&ウェブ ビジネス

ユーザ設定 >> ユーザリスト >> ユーザの編集:

保存 キャンセル

ユーザ属性	
ユーザID:	fwd_mail@example.com
氏名:	
新規パスワード:	
パスワードの確認:	
権限:	<input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> ウェブ

【氏名】は、メール&ウェブ ビジネスでは必須入力項目となっています。アカウント確認時に登録を行ってください。

【パスワード】は、ランダムに設定されていますので、アカウント確認時に登録を行ってください。

【メール】の権限のみ付与されます。

オプション	
メールエイリアス	メールエイリアス 処理 -- 現在、表示するレコードはありません -- @example.com 追加
ウェブエイリアス	ウェブエイリアス 処理 -- 現在、表示するレコードはありません -- http://example.com 追加
メール転送:	メール転送: 処理 user01@example.com 削除 user02@example.com 削除 追加 <input type="checkbox"/> 転送されたメッセージを受信箱に保存する。
自動返信:	自動返信の管理

メール&ウェブで設定した転送先がそのまま設定されます。



### 確認のポイント

- メール&ウェブのメールアドレスの@より前の部分を基に、メール&ウェブ ビジネスのユーザ ID が作成されている。
- 転送メールアドレスおよび設定が複製されている。



### 必要な作業

- 各アカウントの【氏名】を登録する。
- 転送設定のパスワードを登録する。
- 利用者へ【ユーザ ID】の通知を行う。

## 5.コンテンツのご確認

本章では、メール&ウェブ ビジネスへ複製したコンテンツについて確認します。

### ✓ 複製されるディレクトリについて

以下のディレクトリに格納されているファイル(html ファイル、画像ファイル、CGI のファイル等)が複製の対象となります。

/配下のファイルは全て複製の対象となり、それぞれ主要なファイル・ディレクトリは以下のように複製されます。

	メール&ウェブ	⇒	メール&ウェブ ビジネス
ウェブディレクトリ	/	⇒	/www/htdocs
CGI ディレクトリ	/cgi-local	⇒	/www/cgi-bin
ログファイル	/stats	⇒	-(複製されません)

### <複製時のディレクトリ構成イメージ>

FTPソフトで、両サービスのウェブディレクトリを閲覧した場合、以下のようになります。

ディレクトリ・ファイルのパーミッションは、そのまま複製を行っています。

#### ○メール&ウェブ

名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者
.svn			svn	rw-r--r--	root
cgi-local			<DIR>	rw-r--r--	root
checkRoot			<DIR>	rw-r--r--	root
etc	2010/03/19 17:11		<DIR>	r-xr-x--x	root
formmail	2010/03/24 16:09		<DIR>	rw-r--r--	root
img			<DIR>	rw-r--r--	root
include			<DIR>	rw-r--r--	root
MySQL+PHP4	2010/06/20 17:33		<DIR>	rw-r--r--	root
stats	2010/09/01 4:30		<DIR>	rw-r--r--	root
templates	2010/05/27 14:10		<DIR>	rw-r--r--	root
counter.html	2010/09/06 15:43	652	html	rw-r--r--	root
G17_Advance_sigfw1_sig1...	2010/06/10 9:57	0	txt	rw-r--r--	root
index.htm		1,673	htm	rw-r--r--	root
index.html		1,934	html	rw-r--r--	root
index2.html		9,375	html	rw-r--r--	root
sample.html		1,192	html	rw-r--r--	root
ssi.shtml	2010/03/24 16:09	1,339	shtml	rw-r--r--	root

#### ○メール&ウェブ ビジネス

名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者
.svn	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
accesstest	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
checkRoot	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
etc	2010/09/07 9:03		<DIR>	r-xr-x--x	root
formmail	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
images	2010/09/07 9:04		<DIR>	rw-r--r--	root
img	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
include	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
MySQL+PHP4	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
templates	2010/09/07 9:03		<DIR>	rw-r--r--	root
.htaccess	2010/09/07 9:04	180	htacc...	rw-r--r--	root
counter.html	2010/09/07 9:03	625	html	rw-r--r--	root
G17_Advance_sigfw1_sig1...	2010/09/07 9:03	0	txt	rw-r--r--	root
index.htm	2010/09/07 9:03	1,648	htm	rw-r--r--	root
index.html	2010/09/07 9:03	1,934	html	rw-r--r--	root
index2.html	2010/09/07 9:03	9,375	html	rw-r--r--	root
intro.swf	2010/05/27 5:10	4,281	swf	rw-r--r--	root
mxlogic_dump	2010/09/07 9:03	21		rw-r--r--	root
OCN_BK.sample.html	2010/09/07 8:57	1,192	html	rw-r--r--	root
sample.html	2010/09/07 9:03	1,247	html	rw-r--r--	root
ssi.shtml	2010/09/07 9:03	1,339	shtml	rw-r--r--	root

## ✓ 複製されるファイルについて

コンテンツの複製を行うと、ファイル内の CGI ディレクトリや、IP アドレスなどをメール & ウェブ ビジネスの情報に書き換えを行います。

複製を行ったファイルの一覧は、ユーザ領域に以下のような update\_info.txt というテキストファイルに出力されています。

### <update\_info.txt の内容(抜粋)>

```
- /www/htdocs/1057.html
- /www/htdocs/12.html
- /www/htdocs/33.html
- /www/htdocs/index.htm
- /www/htdocs/index.html
- /www/htdocs/index2.html
- /www/htdocs/intro.swf
- /www/htdocs/G17_Advance_sigfw1_sig17f.wht.ocn.ne.jp_118.23.162.7_DBON.txt
+ /www/htdocs/sample.html
- /www/htdocs/mxlogic_dump
- /www/htdocs/ssi.shtml
- /www/htdocs/.svn/README.txt
- /www/htdocs/.svn/empty-file
- /www/htdocs/.svn/entries
- /www/htdocs/.svn/format
- /www/htdocs/.svn/prop-base/mxlogic_query.pl.svn-base
- /www/htdocs/.svn/props/mxlogic_query.pl.svn-work
- /www/htdocs/.svn/text-base/mxlogic_query.pl.svn-base
```

-: 複製元から更新なし  
+: 複製元から変更あり  
変更の内容は、次ページのパス変更となります。



update\_info.txt をコントロールパネルよりダウンロードした場合、閲覧時に表示が崩れる場合があります。ダウンロードする場合は、FTP ソフトをご利用ください。

update\_info.txt 内で、ファイルパスの先頭に「+」が付いているファイルについては、変更前のファイルを以下のように「OCN\_BK<ファイル名>」として同じディレクトリに保存しております。

名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者
.svn	2010/09/07 9:03		<DIR>	svn	rwxr-xr-x
accesstest	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
checkRoot	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
etc	2010/09/07 9:03		<DIR>		r-xr-x--x
formmail	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
images	2010/09/07 9:04		<DIR>		rwxr-xr-x
img	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
include	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
MySQL+PHP4	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
templates	2010/09/07 9:03		<DIR>		rwxr-xr-x
htaccess	2010/09/07 9:04	180	htacc...		rw-r--r--
counter.html	2010/09/07 9:03	625	html		rw-r--r--
G17_Advance_sigfw1_sig1...	2010/09/07 9:03	0	txt		rw-r--r--
index.htm	2010/09/07 9:03	1,648	htm		rw-r--r--
index.html	2010/09/07 9:03	1,934	html		rwxr-xr-x
index2.html	2010/09/07 9:03				
intro.swf	2010/05/27 9:03				
mxlogic_dump	2010/09/07 9:03				
OCN_BK.sample.html	2010/09/07 9:03	1,192	html		rw-r--r--
sample.html	2010/09/07 9:03	1,247	html		rw-r--r--
ssi.shtml	2010/09/07 9:03	1,339	shtml		rw-r--r--

「sample.html」の元ファイルが「OCN\_BK.sample.html」として作成されている。

## ✓ コンテンツの動作確認について

ブラウザからお客さまの CGI や、html ファイルを確認される場合は、URL に IP アドレスを指定して確認を行ってください。  
メール&ウェブ ビジネスの IP アドレスは、ご利用内容のご案内に記載されています。

例) /cgi-bin/sample.cgi の動作確認を行う場合

「ご利用内容のご案内」に記載の「設備情報」にご契約サーバの IP アドレスが記載されています。

■設備情報	
WEB サーバの IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
WEB サーバのサーバ名	XXXXXXXXXXXX

ブラウザには、「ご利用内容のご案内」に記載の IP アドレスを指定します。

アドレス(D) http://xxx.xxx.xxx.xxx/cgi-bin/sample.cgi

また、メール&ウェブではお客さま CGI に使用する文字コードは SJIS または EUC で作成いただいておりますが、メール&ウェブ ビジネスでは、指定の文字コードが【UTF8】となっております。

そのため、確認時に文字化けが発生する可能性がありますので、CGI ファイル等で文字コードを指定している場合は、UTF8 へ変更を行ってください。

## ✓ ファイルパスの書き換え

複製された html ファイル、CGI ファイル、設定ファイル等に記載されている各種 CGI へのパスや IP アドレスは以下のようにメール&ウェブ ビジネスのパスに書き換えが行われます。

	複製前	複製後
CGI ディレクトリ	/お客さまドメイン/cgi-local	⇒ /お客さまドメイン/cgi-bin
ウェブディレクトリ	/u/web/<ユーザ ID>	⇒
	/usr/shared/web/<ユーザ ID>	⇒ /usr/home/<ユーザ ID>/www/htdocs
	/<収容サーバ>/web/<ユーザ ID>	⇒
Perl	パス変換なし	
IP アドレス	メール&ウェブの IP アドレス	⇒ メール&ウェブ ビジネスの IP アドレス
Sendmail	/usr/lib/sendmail	⇒ /usr/sbin/sendmail
シェルスクリプト	ksh	/bin/ksh ⇒ /usr/local/bin/ksh
	csh	パス変更なし
	sh	パス変更なし
UUEncode	/usr/bsd/uuencode	⇒ /usr/bin/uuencode

メール&ウェブ ビジネスの各種スクリプトのパス、各種ソフトウェアのバージョンは、以下の HP をご覧ください。

スクリプトのパス: <http://www.ocn.ne.jp/hosting/function/mw2/09.html>

ソフトウェアのバージョン: <http://www.ocn.ne.jp/hosting/function/mw2/version.html>

なお、各節にて詳細な複製内容をご案内しておりますので、そちらをご覧ください。

【説明参照先】

お客さま CGI	P21	PHP	P22
フォームメール	P22	アクセスカウンター	P23
ユーザ認証	P25	Urchin	P26
データベース	P28	SSL 証明書	P32

## 5.1.お客さま CGIの動作確認

メール&ウェブ ビジネスでは、CGI ディレクトリは【/www/cgi-bin】となっており、メール&ウェブとは異なるディレクトリ名となっております。

<複製のイメージ>

○メール&ウェブ

名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者
lock	2010/03/24 16:31		<DIR>	rwxr-xr...	sigfw1
listvars.pl	2010/03/24 16:09	118	pl	rwxr-xr...	sigfw1
wwwboard.cgi	2010/03/24 16:09	7,181	cgi	rwxr-xr...	sigfw1
wwwboard.dat	2010/03/24 16:09	0	dat	rwxr-xr...	sigfw1
wwwboard.tmp	2010/03/24 16:09	0	tmp	rwxr-xr...	sigfw1
wwwsrch.cgi	2010/03/24 16:09	7,179	cgi	rwxr-xr...	sigfw1
wwwsrch.log	2010/03/24 16:09	0	log	rwxr-xr...	sigfw1

○メール&ウェブ ビジネス

名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者
lock	2010/08/23 2:48		<DIR>	rwxr-xr-x	ikousabi3
.htaccess	2010/01/07	16	hta...	rwxr-xr-x	ikousabi3
listvars.pl	2010/08/23 2:48	118	pl	rwxr-xr-x	ikousabi3
test.pl	2010/06/11	84	pl	rwxr-xr-x	ikousabi3
wwwboard.cgi	2010/08/23 2:48	7,181	cgi	rwxr-xr-x	ikousabi3
wwwboard.dat	2010/03/24 7:09	0	dat	rwxr-xr-x	ikousabi3
wwwboard.tmp	2010/03/24 7:09	0	tmp	rwxr-xr-x	ikousabi3
wwwsrch.cgi	2010/08/23 2:48	7,179	cgi	rwxr-xr-x	ikousabi3
wwwsrch.log	2010/03/24 7:09	0	log	rwxr-xr-x	ikousabi3

お客さまの html ファイル、CGI 等で CGI ディレクトリのパスを記載されている場合は、複製時にパスの変換を行っておりますので、お客さまでのパスの変更は必要ございません。

ブラウザ上から、CGI を実行して、問題なく動作することを確認してください。

## 5.2.PHP

PHPファイルについても、htmlファイルやCGIと同じく複製の対象となりますが、PHPファイルの拡張子によって、実行に使用するPHPのバージョンが変更となっています。

拡張子		メール&ウェブ ビジネス	メール&ウェブ
.php	⇒	PHP5 で実行	PHP5 で実行
.php5	⇒	PHP5 で実行	PHP5 で実行
.php4	⇒	PHP4 で実行	PHP4 で実行

メール&ウェブ ビジネスでは、初期設定でPHP5を利用するようになっておりますので、ブラウザからPHP5で問題なく動作することを確認してください。

なお、コントロールパネルからの設定により、PHP4を使用することも可能です。

その場合は、拡張子が「.php」のファイルは、PHP4として動作します。

ただし、PHP4については開発元のサポートが終了していますので、PHP5にて動作するように修正を行われることを推奨します。

PHP4への変更方法は【管理者マニュアル】をご参照ください。

## 5.3.フォームメール

メール&ウェブでご利用いただいていたフォームメールは、メール&ウェブ ビジネスでは**ご利用いただくことが出来ません**。なお、メール&ウェブでご利用いただいていたフォームメールをメール&ウェブ ビジネスへ移行させる設定代行サービス フォームメール作成代行(有料)もご用意しておりますので、ご利用ください。

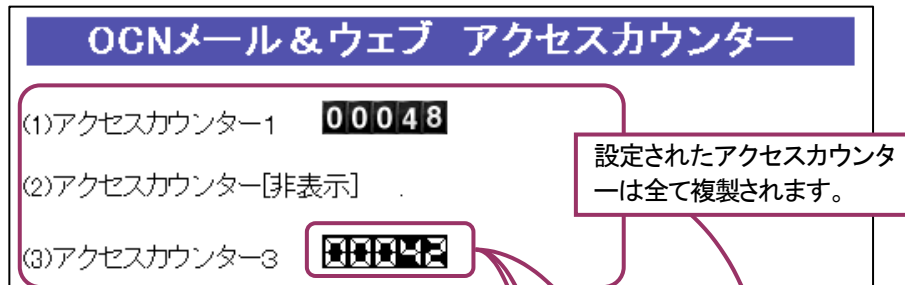
また、メール&ウェブ ビジネスでは動作確認用の簡単なフォームメールをご用意しておりますので、そちらをお試しください。フォームメールについては、【管理者マニュアル】をご参照ください。

## 5.4.アクセスカウンター

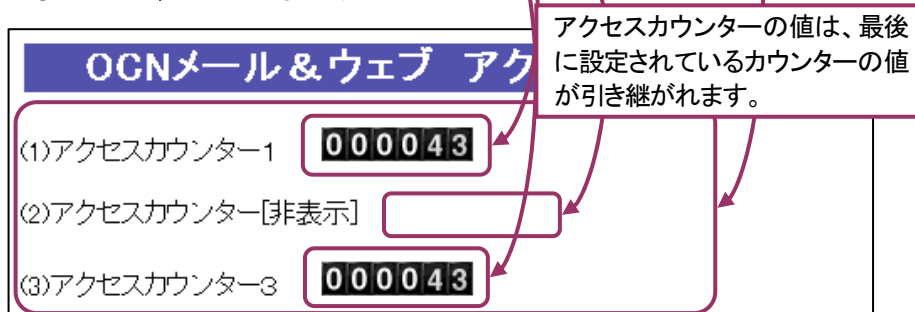
メール&ウェブで利用していたアクセスカウンターを複製すると、以下のようになります。

### <複製のイメージ>

○メール&ウェブ 例)counter.html



○メール&ウェブ ビジネス 例)counter.html



複数のアクセスカウンターを設置している場合は、全てのアクセスカウンターが引き継がれますが、メール&ウェブ ビジネスでは、1つのhtmlファイルで、1つの値を保持する仕様となっておりますので、複製した場合は、htmlファイルの最後に設置されているアクセスカウンターの値が全てのアクセスカウンターに表示されます。

最後のアクセスカウンターが非表示の場合でも、非表示のアクセスカウンターの値が全てのアクセスカウンターに表示されます。

ブラウザより、アクセスカウンターが設置されたhtmlファイルを参照し、全てのカウンターが複製されていること、全てのアクセスカウンターの値を確認してください。

### <アクセスカウンターのデザイン>

アクセスカウンターのデザインは、すべて Odometer(000043) に統一されます。

メール&ウェブ ビジネスでは、多数のデザインをご用意しておりますので、必要に応じてデザインの変更を行ってください。

### <アクセスカウンター値の確認>

複製されたアクセスカウンターの値は、コントロールパネルから操作することが可能です。

上記例の counter.html は、コントロールパネル上では、以下のように表示されます。

#### ○コントロールパネル >> カウンター(抜粋)

<input type="checkbox"/>	ファイル	訪問者数	処理
<input type="checkbox"/>	/33.html	113	
<input type="checkbox"/>	/index.html	112	htmlファイルの動作優先順位で最初に確認できたhtmlファイルのアクセスカウンター値を「/index.html」にコピーします。 「/index.html」は http://ドメイン名/ でアクセスした時のアクセスカウンター値となります。
<input type="checkbox"/>	/index.htm	112	
<input type="checkbox"/>	/12.html	111	

「訪問者数」が画面上の値と同じ事を確認してください。

アクセスカウンターの詳細については、【管理者マニュアル】をご参照ください。

## 5.5 ユーザ認証

メール&ウェブで使用していた、ユーザ認証(アクセス制限)は、ID/Password をそのままにして引き継ぐことができます。

### <複製のイメージ>

#### ○メール&ウェブ(.htaccess)

```
AuthUserFile /u/web/<ユーザ ID>/test/.htpasswd
AuthGroupFile /dev/null
AuthName Protected Area
AuthType Basic

<Limit GET POST>
require user user01
</Limit>
```

設定されたID/Passwordは全て引き継がれる。

#### ○メール&ウェブ ビジネス(.htaccess)

```
AuthUserFile /usr/home/<ユーザ ID>/www/htdocs/test/.htpasswd
AuthGroupFile /dev/null
AuthName "Protected Area"
AuthType Basic

<Limit GET POST>
require user user01
</Limit>
```

ユーザ認証が設定されているhtmlファイルを開覧し、メール&ウェブで設定していたID/Passwordで認証できることを確認してください。

また、複製したユーザ認証の情報は、コントロールパネルからも確認することができます。

#### ○コントロールパネル

各種ツール >> アクセス制限

ディレクトリログイン

概要: インターネットからアクセスしてくるユーザが特定のディレクトリにアクセスすることができます。

説明: パスワードを設定するディレクトリを選択し、「ログインの作成」をクリックしてください。ユーザIDとパスワードは選択したディレクトリとその全てのコンテンツに対して適用されます。

ディレクトリの選択: htdocs/test

複製されたユーザ認証の情報が表示されます。

ユーザID	状態	処理
<input type="checkbox"/> user01	有効	削除   無効

コントロールパネルから、有効/無効の設定と、削除が行えます。

メール&ウェブで設定していたIDが全て複製されていることをご確認ください。

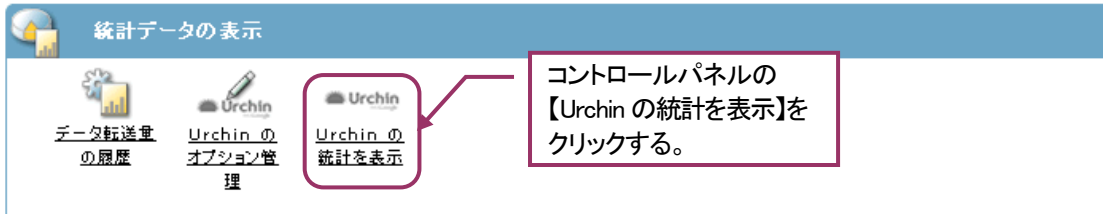
アクセス制限の操作については、【管理者マニュアル】をご覧ください。

## 5.6.Urchin

メール&ウェブで使用していた Urchin のデータを複製します。

メール&ウェブ ビジネスでは、コントロールパネルより、Urchin を起動することが出来ます。

### <Urchin の起動>



### <複製のイメージ>

#### ○メール&ウェブ



全てのデータを引き継ぐが、英語で表示される。

#### ○メール&ウェブ ビジネス



複製時には、メール&ウェブで利用していた解析結果のみを複製します。実際に取得しているアクセスログ等は複製されません。

## <Urchin の表示言語の変更>

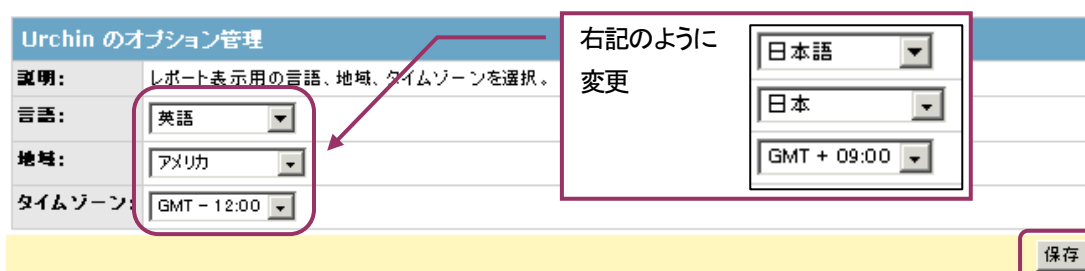
初期状態では解析結果が英語で表示されますので、以下の手順で日本語表示へ変更を行ってください。

- ① メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルへログインし、【統計データの表示】の【Urchin のオプション管理】をクリックします。



- ② Urchin のオプション管理で、使用する言語、地域、タイムゾーンを日本語環境に変更します。

統計データの表示 >> **Urchin のオプション管理**



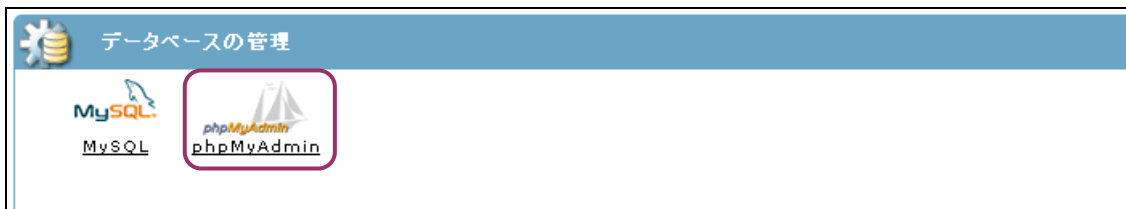
設定を変更しましたら、「保存」ボタンをクリックして、設定は完了です。

## 5.7.データベース

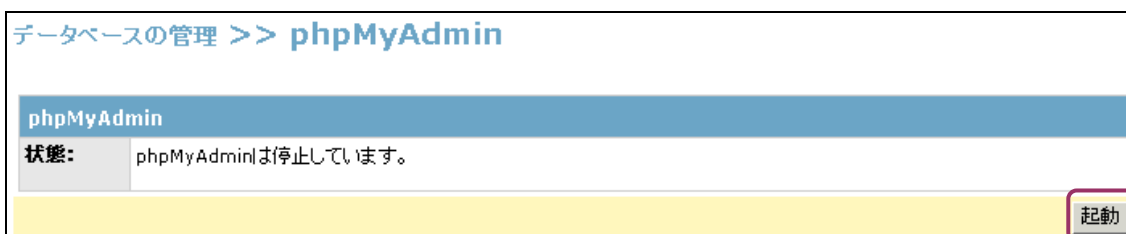
メール&ウェブで利用していたテーブルを、メール&ウェブ ビジネスへ複製します。  
メール&ウェブ ビジネスでは、データベースアクセスツールとして phpMyAdmin よりデータのアクセスを行うことができます。  
ただし、phpMyAdmin の使用方法についてはサポート出来かねますので、ご了承ください。

### <phpMyAdmin の起動>

- ① メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルへログインし、【データベースの管理】の【phpMyAdmin】をクリックします。



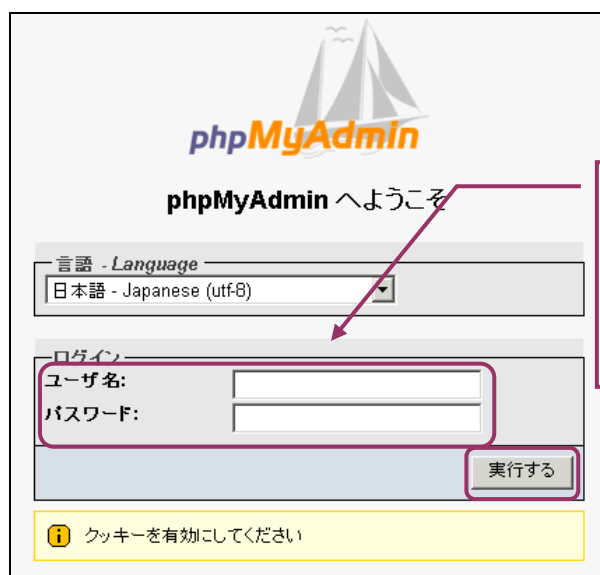
- ② 利用開始時は停止しておりますので、「起動」ボタンをクリックし、phpMyAdmin の起動を行います。



- ③ phpMyAdmin が起動すると、アクセスするリンクが表示されるので、【phpMyAdmin で MySQL を管理】をクリックします。



- ④ 新しいウィンドウで phpMyAdmin が起動しますので、ユーザ名・パスワードを入力してログインします。  
ログインには、2種類のユーザ名/パスワードでログインできますので、いずれかの組み合わせを入力します。



以下のどちらかの組み合わせを入力します。

ユーザ名	パスワード
メール&ウェブ ビジネスのユーザ ID(管理者用)	メール&ウェブのユーザパスワード
メール&ウェブのユーザ ID	

入力したら、「実行する」ボタンをクリックして、phpMyAdmin にログインします。

## <複製のイメージ>

### ○メール&ウェブ

お客様が作成したテーブルの詳細情報を表示することができます。  
 テーブル名を記入して“送信”ボタンをクリックして下さい。  
 テーブル名を指定しない場合には、お客様が作成したテーブルの一覧表が表示されます。  
 テーブル名に「\_」(アンダースコア)を含む場合は、「¥」(バックスラッシュ)を「\_」の前に挿入してください。  
 (例) test\_table を表示させたい場合の入力は test¥\_table となります。

テーブル名:

---

出力:

Database: `sample`

Tables
jpzipcode
sample

### ○メール&ウェブ ビジネス

メール&ウェブで利用していたデータを格納したデータベースが作成されている。

メール&ウェブで使用していたテーブルが複製される。

テーブル	操作	レコード数	種別	照合順序	サイズ	オーバーヘッド
<input type="checkbox"/> jpzipcode		1	MyISAM	utf8_general_ci	1.0 K1B	-
<input type="checkbox"/> sample		1	MyISAM	utf8_general_ci	2.1 K1B	-
2 テーブル	合計	2	MyISAM	utf8_general_ci	3.1	0

メール&ウェブで使用していたデータは、メール&ウェブ ビジネス上にメール&ウェブのユーザ ID を名前にしたデータベースを作成しています。

そのデータベースの中には、メール&ウェブのテーブルが複製されています。

## <ログインに使用するユーザ名・パスワードについて>

phpMyAdmin へのアクセスには、2種類のユーザ名が準備されておりますが、どちらも初期設定ではメール&ウェブのユーザパスワードが設定されています。

パスワードの変更方法は、ユーザ名によって異なります。

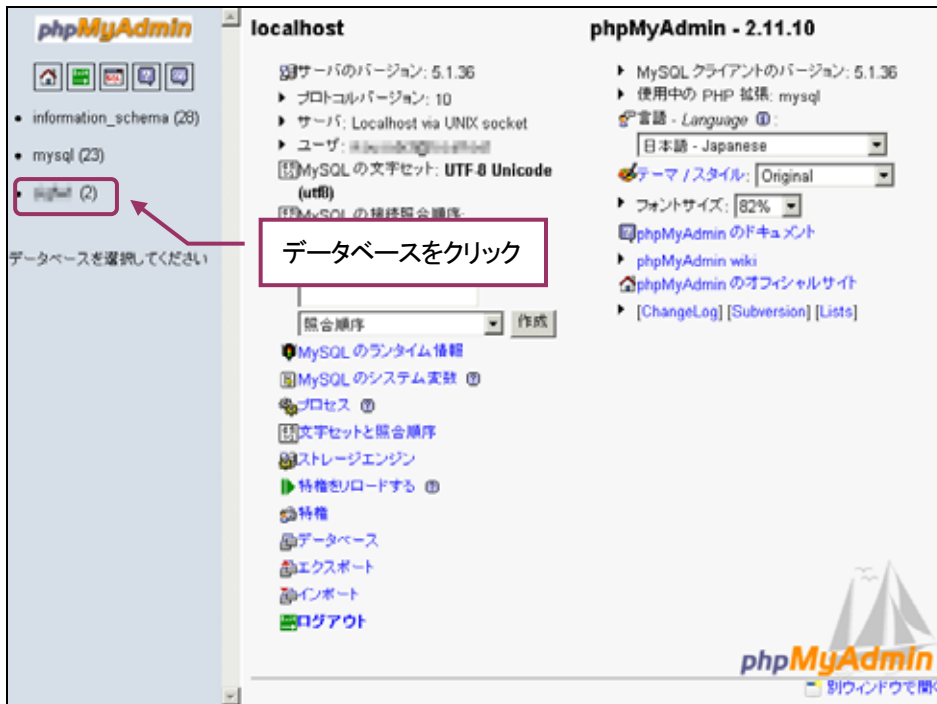
ユーザ名	パスワードの変更方法
メール&ウェブ ビジネスのユーザ ID(管理者用)	メール&ウェブ ビジネスの MySQL と連動しています。 コントロールパネルより MySQL のパスワードを変更すると、phpMyAdmin へのログイン時のパスワードも同じパスワードへ変更されます。
メール&ウェブのユーザ ID	パスワードは、phpMyAdmin より変更が可能です。


どちらのユーザ名でログインしても、複製したテーブルの操作は行えるようになっています。








### <複製後のデータについて>

テーブルを移動する際に、データの移動も行っておりますが、文字コードを EUC-JP で複製しているため、お客さまによっては、データが文字化けしている可能性があります。

- ① phpMyAdmin のトップページより、メール&ウェブのユーザ ID が名前となったデータベースを選択します。

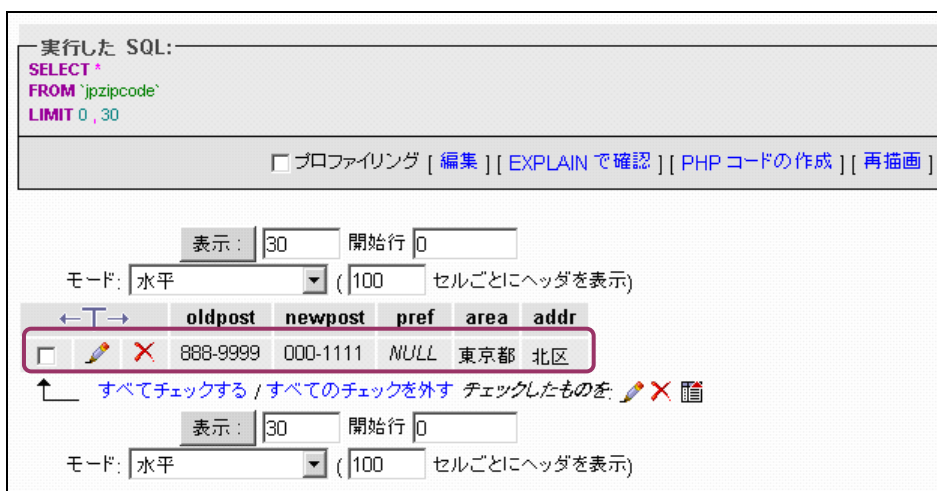


- ② データベースをクリックすると、テーブルの一覧が表示されますので、閲覧したいテーブルの  アイコンをクリックします。

テーブル	操作	レコード数	種別	照合順序	サイズ	オーバーヘッド
<input type="checkbox"/> jpzipcode 	    	1	MyISAM	utf8_general_ci	1.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> sample 	    	1	MyISAM	utf8_general_ci	2.1 KiB	-
2 テーブル	合計	2	MyISAM	utf8_general_ci	3.1 KiB	0 バイト

↑ [すべてチェックする](#) / [すべてのチェックを外す](#)    チェックしたものを:

- ③ 選択したテーブルのデータの一覧が表示されますので、データがインポートされていることをご確認ください。



### <データの再インポート>

データが文字化けしている場合は、phpMyAdmin より再度インポートすることで文字化けが解消される場合があります。

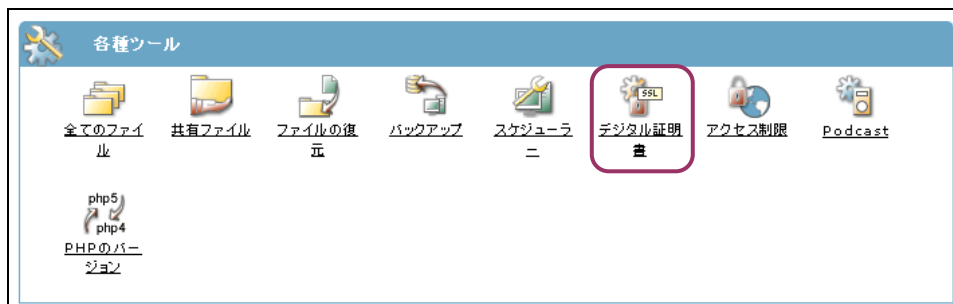
インポート用のデータは、/(ルート)に「DB\_Backup」というファイルが作成されておりますので、DB\_Backup よりインポートを行ってください。

ただし、インポート方法につきましては、サポート出来かねますので、ご了承ください。

## 5.8.SSL 証明書

メール&ウェブで使用している SSL 証明書の秘密鍵をメール&ウェブ ビジネスに複製します。  
複製された秘密鍵はコントロールパネルより確認してください。

- ① メール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルへログインし、【各種ツール】の【デジタル証明書】をクリックしてください。



- ② 【デジタル証明書】の画面に、秘密鍵が複製され有効となっていることを確認してください。

各種ツール >> デジタル証明書

### デジタル証明書リスト

**説明:** デジタル証明書の追加・更新を完了するには、認証局の署名済みデジタル証明書 (.crt) をインストールする必要があります。CSR生成時に生成される秘密鍵をインストールするまでは、公開鍵(デフォルトの証明書)が全てのアカウントに対し有効となります。  
デジタル証明書の3つの状態:

- 有効: 認証局の署名済みのデジタル証明書がインストールされ、有効である状態
- 無効: 認証局の署名済みのデジタル証明書がインストールされているが、無効である状態
- CA (認証局)の署名待ち: CA (認証局)によるデジタル証明書の署名が完了しておらず、署名待ち(無効)の状態。

メール&ウェブ2でサポートしているSSLサーバ証明書の詳細については、[こちらのホームページ](#)をご覧ください。以下のリストは、お客様のドメインに対し設定されているデジタル証明書です。  
有効期限: デジタル証明書の有効期限が90日以下となっています。更新方法についてはヘルプのリンクをクリックしてください。

証明書タイプ	有効期限	状態	処理
公開鍵 (デフォルトの証明書)	N/A	無効	
秘密鍵	Jun 9 23:59:59 2010 GMT	有効(有効期限)	無効   <a href="#">デジタル証明書の詳細</a>



### 確認のポイント

- / のデータが /www/htdocs に複製される。
- /cgi-local のデータが /www/cgi-bin に複製される。
- 「.php」の拡張子のファイルは「PHP5」で実行される。
- メール&ウェブ提供のメールフォーム CGI は複製されない。
- メール & ウェブ提供のアクセスカウンターが複製される。
- Urchin の解析結果が複製される。
- メール & ウェブのユーザ ID を名前としたデータベースが作成されて、データが複製される。
- SSL 証明書の秘密鍵が複製され有効になっている。



### 必要な作業

- Urchin の利用環境を日本語化する。
- データベースのデータが文字化けしている場合は、再度インポートを行う。
- お客様独自に作成された CGI や PHP プログラム等の動作を確認する。

コンテンツのご確認まで完了しましたら、セットアップガイドをご参照の上、**メール&ウェブ ビジネス**の初期設定を行ってください。

また、お客さまでご用意された DNS をご利用の場合は、管理者マニュアルを参考にネームサーバの設定を行ってください。

#### ◆メール&ウェブ ビジネスの設定

セットアップガイドを参考に**メール&ウェブ ビジネス**の初期設定を、行ってください。

#### セットアップガイド

「3. コントロールパネル初期設定」

#### ◆お客さま DNS の設定

お客さまでご用意された DNS をご利用の場合の設定・変更を行います。

#### 管理者マニュアル

「10 章 DNS の設定」

## 6.メールソフトの設定

お客さまがご利用のメールソフトの設定変更を Microsoft Office Outlook2003 を例にご説明します。

他のメールソフトをご利用の場合は、適宜読み替えて設定を行ってください。

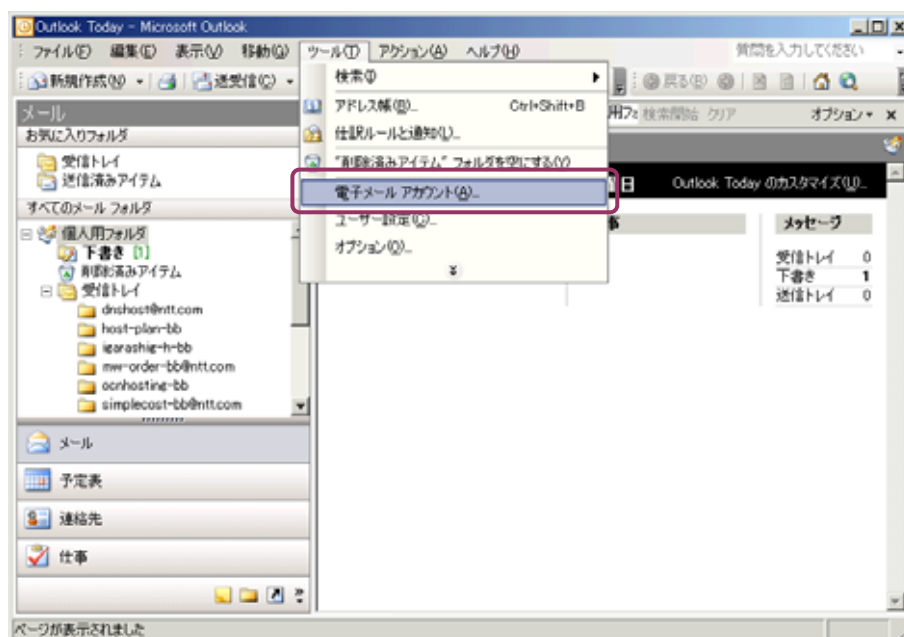
メールソフトの設定変更には、メール&ウェブの IP アドレスが必要となりますので、お手元にご準備ください。

また、管理者の方は利用者の方に以下の手順をご説明の上、**ネームサーバの切り替え日までに**設定の変更を行っていただきますようお願いいたします。

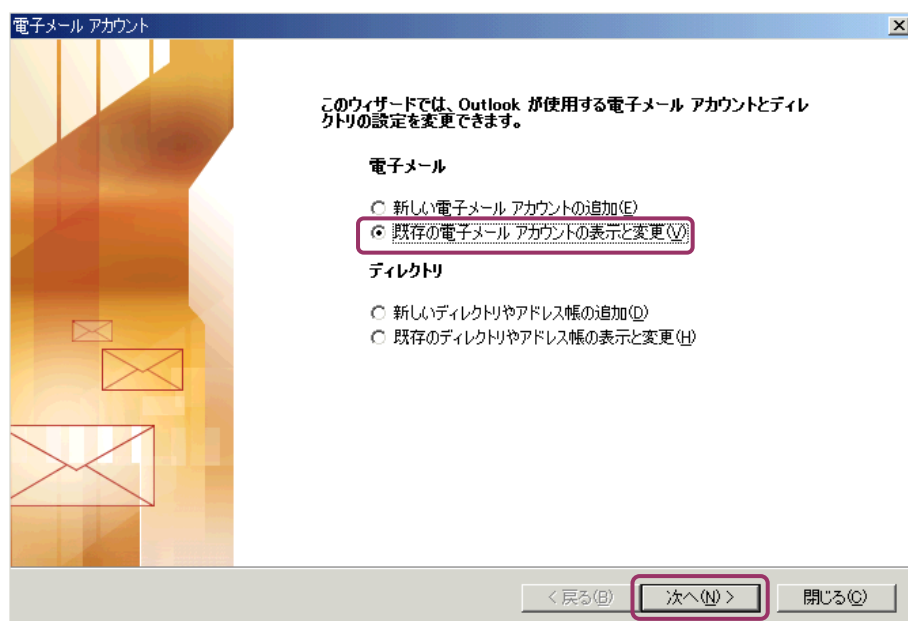
### <現在お使いのメール設定の変更>

メール&ウェブの設定でお使いのメールソフトの設定変更を行います。

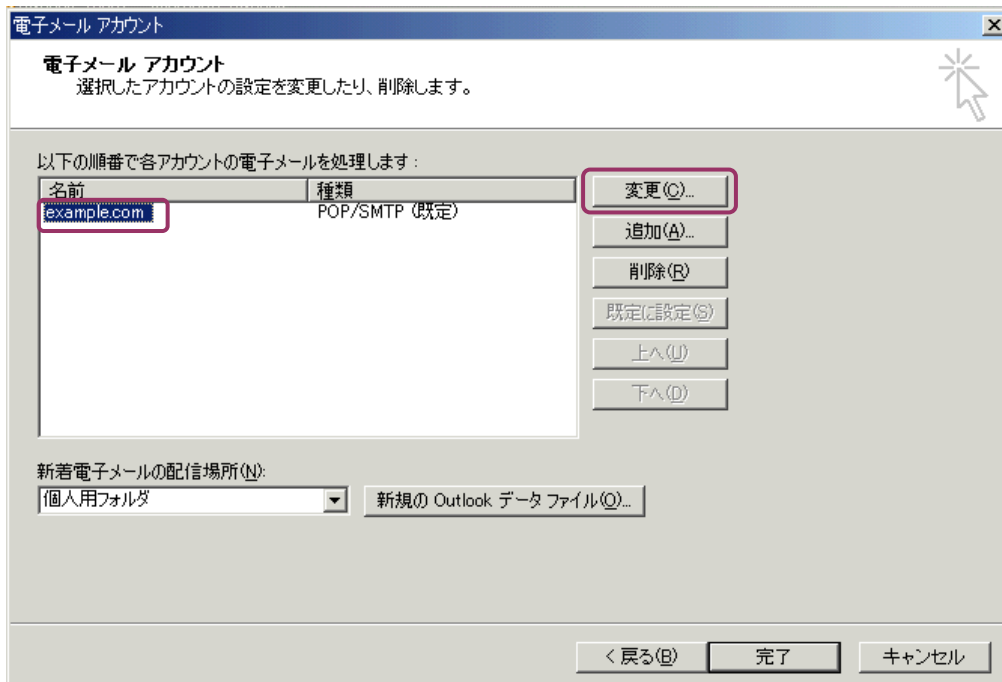
- ① 【ツール】から、【電子メールアカウント】を選択してください。



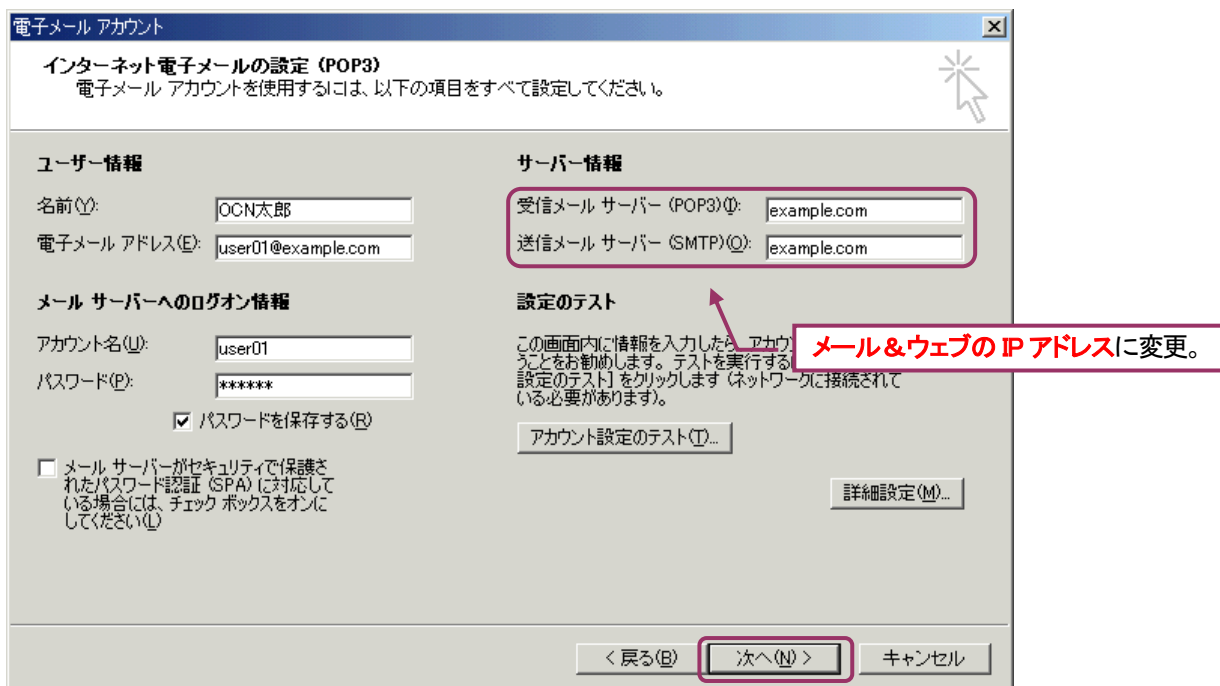
- ② 電子メールアカウントの選択画面が表示されますので、【既存の電子メールアカウントの表示と変更】を選択し、「次へ」をクリックします。



- ③ 電子メールアカウントの画面が表示されますので、メール&ウェブで使用しているアカウントを選択し、「変更」をクリックします。



- ④ インターネット電子メールの設定(POP3)の画面が表示されますので、受信メールサーバ(POP3)と、送信メールサーバ(SMTP)を、メール&ウェブの IP アドレスに変更してください。

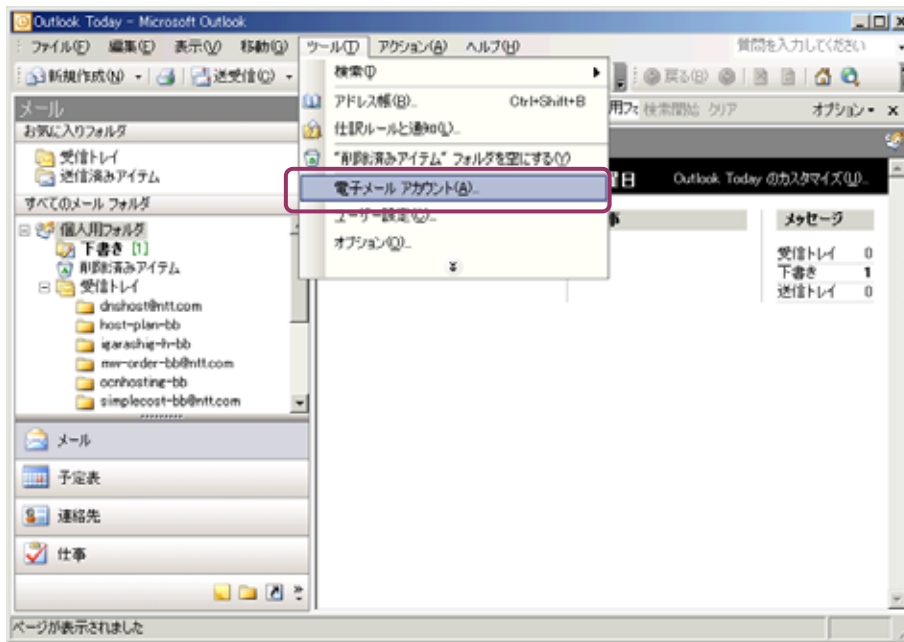


設定を行ったら、「次へ」をクリックします。

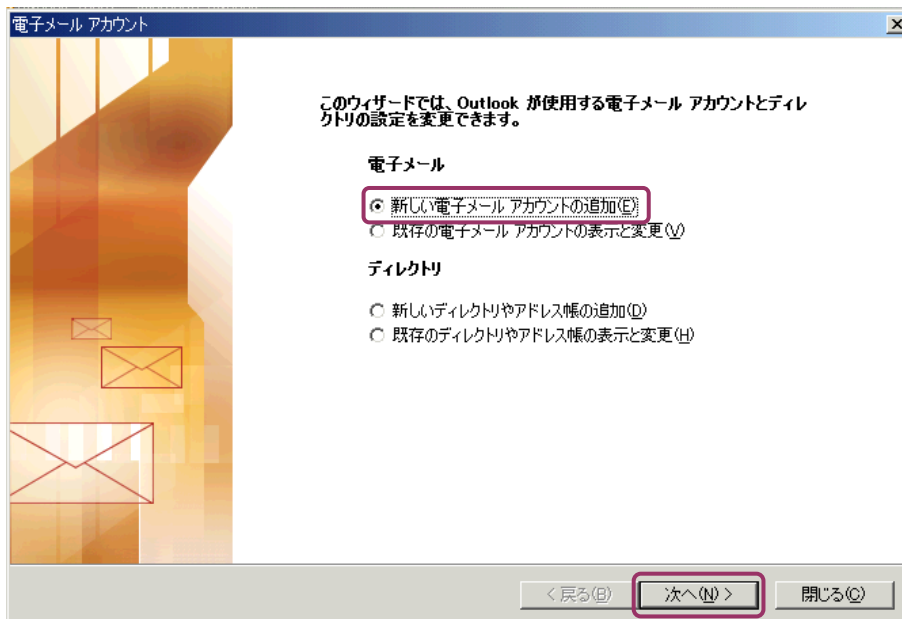
③のアカウント選択画面が表示されますので、右下の「完了」ボタンをクリックして、設定は完了です。

## <メール&ウェブ ビジネスのアカウント設定>

- ① Outlook を起動し、【ツール】から【電子メールアカウント】を選択します。



- ② 【新しい電子メールアカウントの追加】が選択されていることを確認し「次へ」をクリックします。



- ③ サーバーの種類が表示されますので、【POP3】を選択し「次へ」をクリックします。

電子メール アカウント

サーバーの種類  
新しい電子メール アカウントで使用するサーバーの種類を選択します。

- Microsoft Exchange Server (M)  
Exchange サーバーに接続して、電子メールの読み取り、パブリック フォルダへのアクセス、ドキュメントの共有を行います。
- POP3 (P)  
POP 電子メール サーバーに接続します。一般的にインターネット サービス プロバイダ (ISP) では POP サーバーが使用されています。プロバイダから取得したメール アカウントを使用する場合はこちらを選択してください。
- IMAP (I)  
IMAP 電子メール サーバーに接続して、電子メールのダウンロードやメールボックス フォルダの同期を行います。
- HTTP (H)  
Hotmail などの HTTP 電子メール サーバーに接続して、電子メールをダウンロードしたりメールボックス フォルダを同期します。
- その他のサーバー (A)  
ほかのワークグループや他社のメール サーバーに接続します。

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

- ④ インターネット電子メールの設定(POP3)の画面が表示されますので、各設定項目を入力します。

電子メール アカウント

インターネット電子メールの設定 (POP3)  
電子メール アカウントを使用する場合は、以下の項目をすべて設定してください。

① ユーザー情報

名前(N):

電子メール アドレス(E):

③ サーバー情報

受信メール サーバー (POP3)(R):

送信メール サーバー (SMTP)(S):

② メール サーバーへのログオン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

パスワードを保存する (R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください (I)

設定のテスト

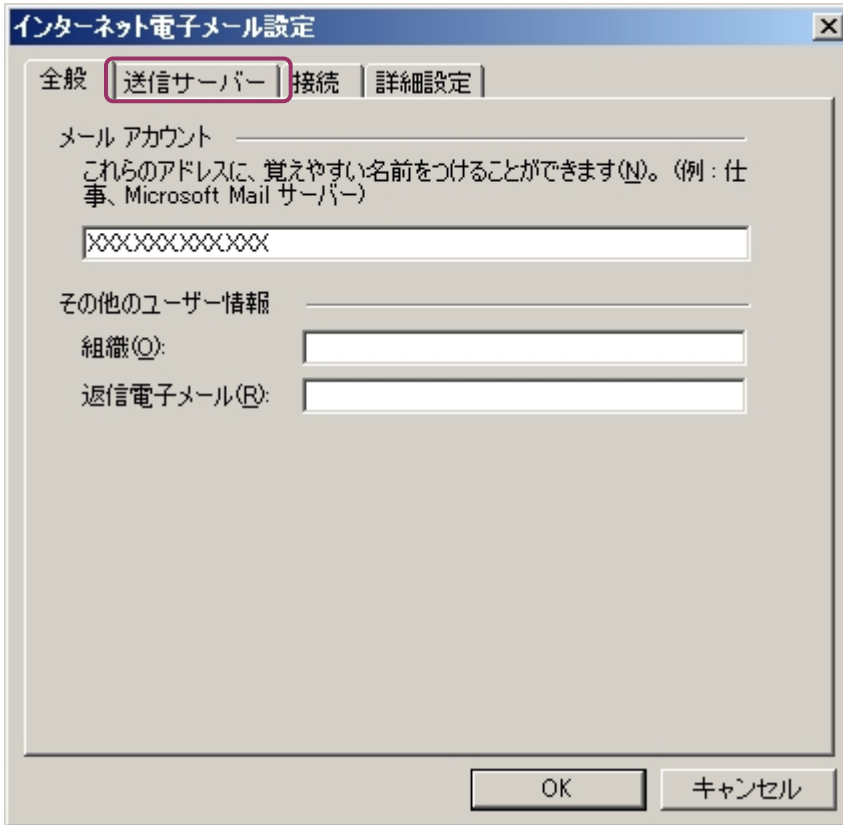
この画面内の情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めします。テストを実行するには【アカウント設定のテスト】をクリックします (ネットワークに接続されている必要があります)。

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

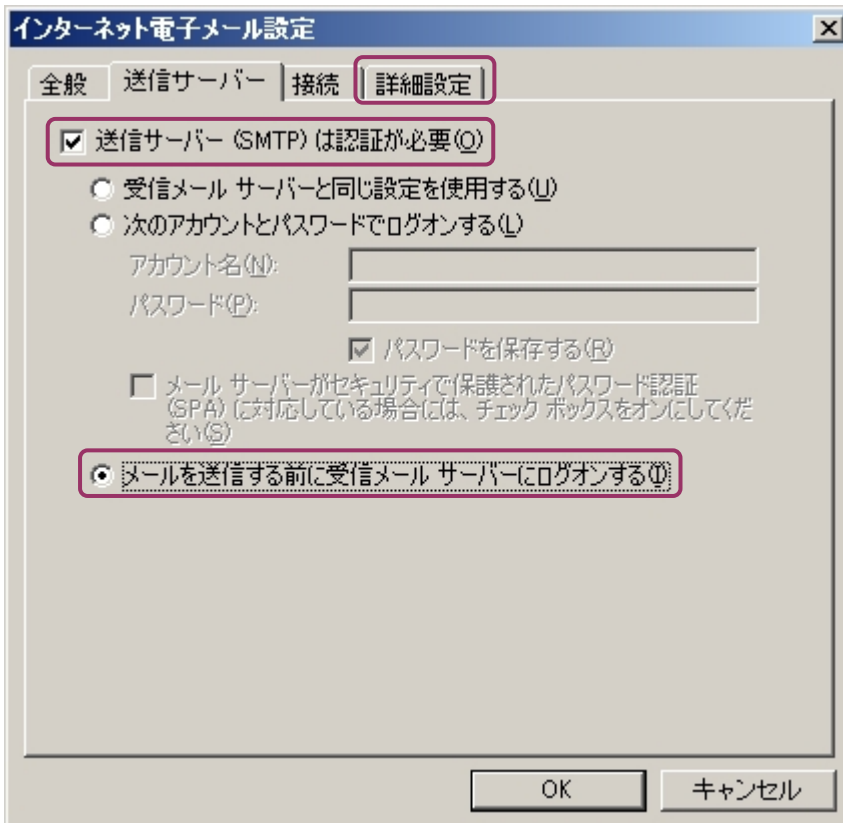
設定項目	設定内容
<b>①ユーザー情報</b>	
名前	メールの送信者欄に表示させる氏名
電子メールアドレス	メール&ウェブでご利用のメールアドレス
<b>②メールサーバーへのログオン情報</b>	
アカウント名	ユーザ ID(メールアドレスの@より前の部分)
パスワード	メール&ウェブでご利用のパスワード
<b>③サーバー情報</b>	
受信メールサーバー	メール&ウェブ ビジネスの IP アドレス
送信メールサーバー	メール&ウェブ ビジネスの IP アドレス

設定が完了しましたら、【詳細設定】ボタンをクリックします。

- ⑤ インターネット電子メール設定の画面が表示されましたら「送信サーバー」をクリックします。



- ⑥ 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」にチェックを入れ、「メールを送信する前にメールサーバーにログオンする。」を選択後、「詳細設定」をクリックします。



- ⑦ 送信サーバー(SMTP)の欄を 587 へ変更し「OK」をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 | 送信サーバー | 接続 | 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(O): 110 標準設定(D)

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 587

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(O)

サーバーのタイムアウト(T)

短い ————— 長い 1分

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 10 日後

削除済みアイテムから削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

- ⑧ ④インターネット電子メールの設定(POP3)の画面へ戻りましたら、「次へ」をクリックします。

電子メールアカウントの画面が表示されますので、右下の「完了」ボタンをクリックして、設定は完了です。



ネームサーバの変更情報が伝播するまでの期間(1週間~2週間)は、新旧のサーバにメールが届くため、併用期間が必要です。併用設定されない場合、メールの消失等が発生してしまうことがあります。

併用期間後(1~2週間後)にメール&ウェブ ビジネス側のアカウントにのみメールが届くようになりましたら、情報の伝播は完了となります。



#### 確認のポイント

- メール&ウェブの設定と、ネームサーバの変更情報が伝播するまでの間、併用利用すること。



#### 必要な作業

- メール&ウェブのメール設定を変更する。
- 本サービスのアカウント設定を作成する。

## 7. 独自ドメインの動作確認

お客さまの DNS 切り替え後に、以下の項目について、お客さまドメインでアクセスが行えることを確認してください。

### 7.1. メールの送受信

メール&ウェブ ビジネスの設定で登録を行ったメールソフトで、外部ドメインとのメールの送受信が行えることを確認してください。

全てのメールがメール&ウェブ ビジネス側の設定で受信できるようになるまでは、メール&ウェブの設定と併用してご利用ください。

#### <情報伝播後のメールソフトの設定>

メール&ウェブ側へメールが届かなくなりましたら、以下のように再度メールソフトを設定変更します。

アカウント	設定内容
メール&ウェブ側	IP アドレス削除や ID/パスワード削除します。 ※メールソフトによっては、アカウント削除に伴って過去のメールもあわせて削除されることがありますので十分ご注意ください。
メール&ウェブ ビジネス側	メールソフトの受信側メールサーバー、送信側メールサーバーの「IP アドレス」を「ご利用内容のご案内」記載のドメイン名に変更してください。 ※変更方法については、【6 メールソフトの設定】を参照してください。

### 7.2. html ファイルへのアクセス

http://お客さまドメイン/~ の URL で、お客さま作成の html ファイルが閲覧できることを確認してください。

なお、複製後の Web コンテンツは、メール&ウェブと同じ URL でアクセスできるよう複製しておりますので、外部からのリンクされている場合でも、URL の変更等は必要ございません。

**※index.htm で表示させるファイル名の優先順位がメール&ウェブとは異なります。**

### 7.3. CGI の動作確認

http://お客さまドメイン/cgi-bin/~ の URL で、お客さま作成の CGI が動作できることを確認してください。

**※CGI のパスがメール&ウェブとは異なります。**

メール&ウェブ : http://お客さまドメイン/cgi-local/~

↓

メール&ウェブ ビジネス : http://お客さまドメイン/cgi-bin/~



#### 確認のポイント

- メール&ウェブ ビジネスの設定を行ったメールソフトで、メールの送受信が行えることを確認する。
- http://お客さまドメイン/~で、html ファイルにアクセスできることを確認する。
- http://お客さまドメイン/cgi-bin/~で、CGI ファイルにアクセスし、動作することを確認する。

以上で、複製のご確認及びメール&ウェブ ビジネスの初期設定は完了です。

なお、本書で触れていない部分についての記載が、セットアップガイドにありますのでご一読ください。

#### <ユーザーサポートについて>

セットアップガイドにユーザーサポートや、ご登録情報の変更方法について記載しておりますので、そちらをご参照ください。

##### ◆ユーザーサポート

メール&ウェブ ビジネスのユーザーサポートについてご案内します。

##### セットアップガイド

「7.各種設定・変更とユーザーサポート」

- 本書の一部または全部を NTT コミュニケーションズ株式会社の許可なく複製することを禁じます。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書における製品の記述は、情報を提供する目的で書かれたもので、これらの製品についてなんら保証もしくは推奨するものではありません。
- BizCITY、OCNIは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- 製品名などの固有名詞は、各メーカーの登録商標または商標です。